

プロジェクトリーダー:名古屋学院大学 スポーツ健康学部 横井志保准教授

事業実績調書

(1) プロジェクト名	未就園児を持つ親を対象としたワークショップ
(2) プロジェクトの成果 (※そのような成果が得られたかについて具体的に記載)	未就園児を対象とした本事業は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見送ったため今年度の成果は得られていない。
(3) プロジェクト実施内容 (※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)	<p>以下、今年度実施する予定であった内容を記す。(次年度実施予定内容)</p> <p>1. ポスターおよびチラシによる参加者の募集と受付方法 参加者募集のためのポスターとチラシを作成し未就園児を持つ親等が足を運びそうな場所（検診会場、子育て支援施設、スーパー、駅等）に掲示、配布する。これらの他に広報誌にて周知する。 受付は先着順とし、メールにて受け付ける。</p> <p>2. 4人の教員がそれぞれワークショップを担当</p> <p>第1回 季節の飾りづくり (担当: 古川) 家庭で飾ることができる、簡単な季節の飾りを折り紙やフェルトなどを使って作る。</p> <p>第2回 子育ておはなし会 (担当: 吉田) 子育てのエピソードや悩みをくつろいだ雰囲気の中でグループディスカッションする。</p> <p>特別回 父親 (20名程度) を対象としたおもちゃづくり (担当: 宇野) 身近にある材料から工夫して遊べる玩具を作る。</p> <p>第3回 ミュージックベル体験と子どもと歌える楽しい歌 (担当: 横井) 楽譜が読めなくても演奏できる方法でミュージックベルを使用して参加者全員で曲を演奏する。また、子どもと一緒に楽しめる季節の歌を歌う。</p> <p>第4回 ミニコンサートの開催 参加者と学生によるミュージックベル、季節の歌を中心としたコンサートを実施。</p> <p>3. ワorkshop時の乳幼児は託児を行う ワークショップ担当以外の教員の指導による学生ボランティアおよび保育士の資格を持つ託児ボランティアによる託児の実施により安心してワークショップに参加してもらう。</p> <p>4. 本学キャンパス、施設の活用 乳幼児の託児は本学プレイルームを使用し、ワークショップは活動に適したプレイルームに近い教室を使用する。また、本学キャンパスを会場とすることで、ワークショップ終了後も参加者らがキャンパス内の自然を存分に味わい散歩したり、お弁当を食べたり、親子でゆっくり過ごすことも可能であり、他の参加者らとより親しくなれる。</p> <p>5. 対象者について 対象の親子、未就園児20組は子育て仲間の構築を目的とすることから、第1回～第4回通して参加することを条件とする。ただし、特別回の父親対象の会は広く参加者を募集する。</p>
(4) プロジェクトの今後の課題と展望	今年度は実施せず2021年度実施予定であるが、本プロジェクトは未就園児を持つ親を対象としたワークショップを実施することで、家庭内で孤立する親子を外の世界へ誘い出すことが期待される。また、親子を20組と限定し、月に1度のワークショップを4回連続で実施することは、同じような子育ての悩みや、子どもの育ちに関する不安等を専門的な知識を持った大学教員や同じ環境にある他の参加者に話すことができる人間関係の構築に繋がり、悩みや不安の軽減となることが期待される。